



3. 安満遺跡公園の全体配置

- 1) この場所は、昭和3年(1928年)に京都大学の附属農園が開設され、90年間に渡り農学研究が行われた。
- 2) 高槻市は、京大農地の跡地とその北側の空間を、歴史資産である「安満遺跡」を活かした緑豊かな公園として整備されました。
- 3) 安満遺跡公園は、平成31年(1919年)3月に一次オープンし、令和3年(2021年)3月に約22ヘクタールの広大な緑のセントラルパークとして全面オープンしました。(甲子園球場5個分もの広さ)
- 4) 国史跡に指定されている歴史的価値が高い弥生時代の大集落跡を整備した公園で、古代と現在が心地よく調和しています。
- 5) 安満遺跡公園は、広域避難地として安全に避難できる機能を確保(耐震性貯水槽、防火水槽、防災倉庫、災害時用ヘリポート、ソーラー照明等)
- 6) 園路は東側エリア内の一周が1.1km、西側も含めると1.5kmのコースが設定されています。
自分に合った距離でウォーキングやランニングもできます。
パークセンターには、ランニングステーションに更衣室やロッカー、シャワーもあります。
- 7) 史跡指定範囲は、18ページの安満遺跡公園内雨水貯留設備の全体計画図で示しますが殆どのエリアが指定エリアです。
※ パークセンター・雨水貯留設備・駐車場や大屋根広場等は、史跡指定範囲外となっています。